

「母となり広がった職域」

株式会社ダイセイ

経営企画部総務課長 見元 美佳



はじめに、このたびの新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、影響を受けられた皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い収束を心よりお祈り申し上げます。

改めまして、株式会社ダイセイの見元と申します。昨年より労務管理者協議会へ参加させて頂いており、今回メンバーリーのお話を頂戴しましたので、僭越ながらこの場をお借りして会社・自己紹介をさせていただきます。

■株式会社ダイセイと仕事内容について

弊社はビルメンテナンス業・コインパーキング業・ロジスティクス業・廃棄物収集運搬業・空き家管理業と多岐にわたって事業展開を行い、高知のみなさまの様々な「こまった」シーンをおたすけする企業を目指しています。

「おたすけダイセイ」「おクルマダイセイ」で既にご存じ頂いている方もいらっしゃるかと思いますが、弊社は全ての事業に「〇〇ダイセイ」とサービス名称を付け、またそれぞれイルカキャラクターをつけています。実はこのイルカは、あの高知を代表する〔村岡マサヒロさん〕が書いてくださっており、平成30年に今のイルカにリニューアルしましたが、旧イルカたちも全て村岡さんの作品でした。

私はそんなダイセイに入社して今年で14年です。現在は総務課長として日々大奮闘中です。この間、結婚や二度出産をするなど、人生のとても濃厚な時間をこのダイセイとともに歩んできました。

私は入社後、事務職として現場や営業のサポートに従事していましたが、育児休業時に自社の広告に今までは感じる事が無かった『物足りなさ』を感じるようになりました。一社員ではなく主婦・母親という一歩引いた目線で見たととき、「もっとこうすれば。ああすれば」という思いで一杯になり、居てもたってもいられず、社長（当時専務）に「育休復帰後は広報をやらせてほしい」旨を

伝えました。社長からは2つ返事で「やってみて」と承諾をいただき、弊社に広報部門が誕生しました。ここが私の第2のダイセイ人生のスタートです。

広報では、既に取り組みをしていたエコ活動を含めたCSRの強化と、人材確保につなげるためのESアップに重点を置きました。イベントでは小さなお子さんをもつ従業員が多かったこともあり、自然と子どもを中心とした企画が増え、子どもを通じて大人の輪も広がり部署を越えたコミュニケーションが実現しました。今ではこのことがマスコミや行政に取り上げられることも増えPRの一つとなっていますが、何より従業員やその家族と一緒に笑っている姿を見られることが最良の結果だったと感じています。

■プライベート

私生活では、小学2年生・5歳の女の子の母です。

大切な家族が増えるに連れ私の貫禄も増し、朝から大きな声で笑い、怒るときは鬼のようになっている自分にハッとする毎日です。

私は以前、子どもたちと喧嘩したとき、鞆を取られ

「もうお仕事行かしちゃらん」と言われたことがあります。言われた瞬間は意味が分からずビックリしましたが、後で「好きなことさせちゃらん」という意味だと分かり、とても温かい気持ちになりました。

子どもたちには「仕事は楽しいこと」、「大人になることはもっと楽しいこと」と母として同じ女性の先輩として伝えていきたいと思っていたので、ちゃんと伝わっていることが嬉しかったです。これからも何事にもポジティブに、この大きな背中子どもたちにしっかり見せていきたいと思います。10年後、15年後…2人と楽しく仕事の話をしていきたいですね。

最後になりますが、会員の皆様、今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。